

令和5年度概算要求主要事項及び説明資料

大臣官房文教施設企画・防災部

目 次

令和5年度概算要求主要事項	1
公立学校施設の整備	2
公立学校施設等の災害復旧事業	4
国立大学・高専等施設の整備	5
文教施設の整備充実に必要な経費等	7

令和5年度概算要求主要事項

★は要求額+事項要求とするもの。

事 項	前 年 度 予 算 額 千円	令 和 5 年 度 要 求 額 千円	比 較 増 △ 減 額 千円	備 考
一般会計				
公立学校施設の整備	68,729,233	210,380,451 ★	141,651,218	1. 公立学校施設整備費負担金 50,859,642 (41,237,251) 2. 学校施設環境改善交付金 [うち 要望額 159,520,809] 159,520,809 (27,491,982) 3. 北方領土隣接地域振興等事業補助率差額 - (-)
公立学校施設の災害復旧事業	494,821	538,692	43,871	1. 公立諸学校建物其他災害復旧費補助金 23,403 (22,055) 2. 公立諸学校建物其他災害復旧費負担金 515,289 (472,766)
国立大学・高専等施設の整備	36,319,922	100,000,000 ★	63,680,078	1. 国立大学法人施設整備費補助金 [うち 要望額 66,582,036] 89,619,593 (31,635,631) 2. 国立大学法人先端研究等施設整備費補助金 [うち 要望額 551,510] 881,537 (3,732,820) 3. 独立行政法人国立高等専門学校機構施設整備費補助金 [うち 要望額 8,737,410] 9,498,870 (951,471)
[他に財政融資資金]	[37,720,038]	[54,500,000]	[16,779,962]	
文教施設の整備充実に必要な経費等	331,361	473,951	142,590	1. 文教施設に関する整備指針等の策定 [うち 要望額 72,757] 128,377 (81,308) (1) 多様化する学習内容・方法等の変化に対応した学校施設等の整備推進 54,287 (54,330) (2) 文教施設におけるPPP/PFI推進 74,090 (26,978) 2. 文教施設の防災対策の強化・推進 [うち 要望額 9,020] 19,407 (11,031) (1) 防災対策の強化・推進 4,930 (4,970) (2) 学校施設の耐震化等防災機能の強化 14,477 (6,061) 3. 文教施設の環境対策の推進 [うち 要望額 35,735] 46,398 (10,933) 4. 公立文教施設事務経費等 224,974 (198,714) 5. 国立大学法人等施設事務経費等 [うち 要望額 25,869] 54,795 (29,375)
文教施設整備に係る政府調達の電子化の推進	164,131	619,224	455,093	
復興特別会計				
公立学校施設の災害復旧事業	30,598	13,190	△ 17,408	1. 公立諸学校建物其他災害復旧費補助金 13,190 (30,598) 2. 公立諸学校建物其他災害復旧費負担金 - (-)
公立文教施設事務経費	-	-	-	公立文教施設災害復旧事務費
私立学校施設の災害復旧事業	3,960	17,525	13,565	1. 私立学校建物其他災害復旧費補助金 17,525 (3,960)
私立学校施設事務経費	36	36	0	私立学校施設災害復旧事務費
計	106,074,062	312,043,069	205,955,442	
[他に財政融資資金]	[37,720,038]	[54,500,000]	[16,779,962]	

※デジタル庁計上分は、上記の当該事項の概算要求額に含む。

公立学校施設の整備

◆概算要求額（公立文教施設整備費）

令和5年度要求額 210,380百万円（前年度 68,729百万円）

※防災・減災、国土強靱化関係予算を別途事項要求。
※沖縄分は内閣府において計上。

◆内 容

- 学校施設の老朽化がピークを迎える中、子供たちの多様なニーズに応じた教育環境の向上と老朽化対策の一体的整備が必要。
- 中長期的な将来推計を踏まえ、首長部局との横断的な協働を図りながら、トータルコストの縮減に向けて計画的・効率的な施設整備を推進。
- 2050年のカーボンニュートラル達成に向けて、脱炭素社会の実現に貢献する持続可能な教育環境の整備を推進。

<新しい時代の学びを支える安全・安心な教育環境の実現～Schools for the Future～>

1. 新時代の学びに対応した教育環境向上と老朽化対策の一体的整備の推進
 - ・ 学校施設の長寿命化を図る老朽化対策
 - ・ バリアフリー化、特別支援学校の整備
 - ・ 他施設との複合化・共用化・集約化
2. 防災・減災、国土強靱化の推進 事項要求
 - ・ 非構造部材の耐震対策等
 - ・ 避難所としての防災機能強化（トイレ改修等）
3. 脱炭素化の推進
 - ・ 学校施設のZEB化（高断熱化、LED照明、高効率空調、太陽光発電等）
 - ・ 木材利用の促進（木造、内装木質化）

◆制度改正

- 特別支援学校の教室不足解消に向けた取組を含む学びの環境整備等のための改修等の補助率引上げ
- 断熱性が確保されている体育館への空調設置（新設）の補助率引上げ

◆建築単価

- 対前年度比 +18.7%（物価変動の反映や標準仕様の見直し等による増）
<小中学校校舎（鉄筋コンクリート造）の場合>
令和4年度 243,300円/㎡ → 令和5年度 288,700円/㎡
- 新時代の学びを実現する学校施設を整備するための新たな単価加算
上記改定単価に加えて +4.0%

公立学校施設の整備

新しい時代の学びを支える安全・安心な教育環境の実現～Schools for the Future～

令和5年度要求・要望額 2,104億円
+ 事項要求 687億円
(前年度予算額)



背景

- ◆ 学校施設の老朽化がピークを迎える中、子供たちの多様なニーズに応じた**教育環境の向上と老朽化対策の一体的整備**が必要。
- ◆ 中長期的な将来推計を踏まえ、**首長部局との横断的な協働**を図りながら、**トータルコストの縮減に向けて計画的・効率的な施設整備**を推進。
- ◆ 2050年のカーボンニュートラル達成に向けて、**脱炭素社会の実現に貢献**する持続可能な教育環境の整備を推進。

1 新時代の学びに対応した教育環境向上と老朽化対策の一体的整備の推進

- 学校施設の長寿命化を図る老朽化対策
- バリアフリー化、特別支援学校の整備
- 他施設との複合化・共用化・集約化

2 防災・減災、国土強靱化の推進 <事項要求>

- 非構造部材の耐震対策等
- 避難所としての防災機能強化（トイレ改修等）

3 脱炭素化の推進

- 学校施設のZEB化（高断熱化、LED照明、高効率空調、太陽光発電等）
- 木材利用の促進（木造、内装木質化）

具体的な支援策

■ 制度改正：

- 特別支援学校の教室不足解消に向けた取組を含む学びの環境整備等のための改修等の補助率引上げ（1/3→1/2）
- 断熱性が確保されている体育館への空調設置（新設）について補助率引上げ（1/3→1/2）

■ 単価改定：

- 物価変動の反映や標準仕様の見直し等による増 **対前年度比 +18.7%**
小中学校校舎（鉄筋コンクリート造）の場合
R4:243,300円/㎡ ⇒ R5:288,700円/㎡
- 新時代の学びを実現する学校施設を整備するための新たな単価加算 **上記改定単価に加えて+4.0%**

新しい時代の学校施設

他施設との複合化により学習環境を多機能化しつつ、効率的に整備

避難所としての**防災機能強化**



多機能トイレの整備



老朽化対策と一体で多様な学習活動に対応できる多目的な空間を整備



激甚化・頻発化する災害への対応

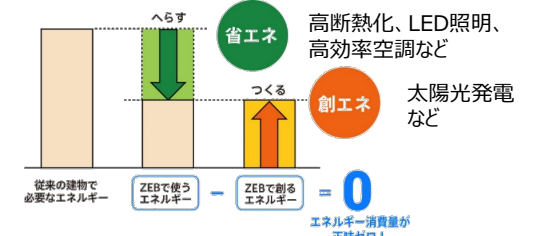


台風で屋根が消失した体育館

国土強靱化

脱炭素化

柱や内装に木材を活用し、温かみのある学習環境や脱炭素化を実現



ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）

年間で消費する建築物のエネルギー量を大幅に削減するとともに創エネでエネルギー収支「ゼロ」を目指した建築物

公立学校施設等の災害復旧事業

◆概算要求額（公立学校施設等の災害復旧）

○公立学校施設

令和5年度要求額 552百万円（前年度 525百万円）

一般災害分（一般会計）	：	539百万円（前年度	495百万円）
東日本大震災分（復興特別会計）	：	13百万円（前年度	31百万円）

○私立学校施設

令和5年度要求額 18百万円（前年度 4百万円）

東日本大震災分（復興特別会計）	：	18百万円（前年度	4百万円）
-----------------	---	-----------	-------

◆内 容

豪雨、台風等の一般災害からの復旧や東日本大震災によって被害を受けた公立学校等の復旧に係る経費を国が財政的に支援することにより、公立学校施設等の復旧を推進し、学校教育の円滑な実施を確保する。

国立大学・高専等の施設整備

◆概算要求額（国立大学法人等施設整備費）

令和5年度要求額 100,000百万円（前年度 36,320百万円）

〔他に、財政融資資金 54,500百万円（前年度37,720百万円）〕

※防災・減災、国土強靱化関係予算を別途事項要求

◆内 容

「第5次国立大学法人等施設整備5か年計画（令和3年3月文部科学大臣決定）」に基づき、国立大学等施設の戦略的リノベーションによる老朽改善を行い、教育研究環境の機能強化を図るとともに、施設の長寿命化、2050年カーボンニュートラルに向けた脱炭素化を促進する。

また、ソフト・ハード一体となった教育研究環境の整備等のイノベーション・commons（共創拠点）化を推進することにより、老朽改善、教育研究の高度化・多様化・国際化、地方創生や地域防災、イノベーション創出に貢献する。

◆安全・安心な教育研究環境の整備（防災・減災、国土強靱化 ※事項要求）

- ・耐震対策及び防災機能強化
- ・老朽改善
- ・ライフラインの計画的な更新

◆イノベーション拠点の強化等

- ・最先端研究や人材育成等に貢献する施設整備
- ・先端医療、地域医療を支える大学病院の整備

◆カーボンニュートラルに向けた取組

- ・ZEB化を推進するための先導モデル事業の実施
- ・省エネの取組の加速化

概要

- ◆「第5次国立大学法人等施設整備5か年計画（令和3年3月文部科学大臣決定）」に基づき、国立大学等施設の戦略的リノベーションによる老朽改善を行い、教育研究環境の機能強化を図るとともに、施設の長寿命化、2050年カーボンニュートラルに向けた脱炭素化を促進する。
- ◆ソフト・ハード一体となった教育研究環境の整備等のイノベーション・コモンズ（共創拠点）化を推進することにより、老朽改善、教育研究の高度化・多様化・国際化、地方創生や地域防災、イノベーション創出に貢献する。

事業内容

① 安心・安全な教育研究環境の整備（国土強靱化※事項要求）

耐震対策・防災機能強化、老朽改善、ライフラインの計画的な更新



落下の危険がある外壁



老朽改善された施設

② イノベーション拠点の強化等

先端研究や人材育成等に貢献する機能強化、大学附属病院の再生



対面とオンラインを併用した教育環境



フレキシブルなオープンラボ

③ カーボンニュートラルに向けた取組

ZEB化を推進するための先導モデル事業の実施、省エネの取組の加速化



創エネルギー設備の整備



高効率空調の整備

老朽改善にあわせた機能強化等を行い、キャンパス全体が有機的に連携し、あらゆる分野・場面・プレーヤーが共創できる拠点となる「イノベーション・コモンズ」の実現を目指す

他の大学・研究機関等との共創



研究者間の連携を促進する最先端研究の拠点



体育館をリノベーションした
コワーキングスペース、
スタートアップ創出拠点



学生と起業家・地元企業との
交流を促進する共創の場

広域的・発展的な
大学間の連携

産学連携・実証実験



地方公共団体・地域社会との共創



地域の教育研究拠点として
人材育成、地域課題の解決



災害発生時の医療提供の継続・避難所としての活用



文教施設の整備充実に必要な経費等

1. 文教施設に関する整備指針等の策定

令和5年度概算要求額 128,377千円（前年度 81,308千円）

多様化する学習内容・方法等の変化に対応した学校施設等の整備推進

- ① 学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議
 - ・学習指導要領の改訂等を踏まえた学校施設の在り方について検討
 - ・新時代の学びに対応した教育環境の構築に必要な学校施設整備について検討
- ② 学校施設整備指針等の普及・啓発
 - ・改訂した学校施設整備指針やバリアフリー化推進指針等の成果について普及・啓発
- ③ 新しい時代の学びの環境整備先導的開発事業
 - ・新時代の学びに対応した学校施設整備の事業計画段階を支援し、その成果を発信・普及
- ④ 新時代の学びに対応した学校施設整備推進プラットフォーム構築事業
 - ・整備事例・ノウハウの蓄積・発信や相談体制の構築等からなるプラットフォームの構築により新時代の学びに対応した学校施設整備を着実に推進

文教施設における PPP/PFI 推進

- ① 文教施設における多様な PPP/PFI の先導的開発事業の実施
 - ・地域や施設の特性等に応じた手法の開発や課題整理等を行う地方公共団体を支援するとともに、先導的な事業の収集・分析を行い、その成果を全国に発信・普及

2. 文教施設の防災対策の強化・推進

令和5年度概算要求額 19,407千円（前年度 11,031千円）

学校施設の耐震化等防災機能の強化等

- ① 学校施設の安全性の確保及び防災機能強化
 - ・学校施設等の防災・減災対策を推進するための調査研究の実施
 - ・学校設置者における水害対策検討のモデル事例構築のための実証事業の実施
- ② 学校施設の耐震化推進にかかる普及啓発
 - ・非構造部材の耐震対策、水害対策等を含めた学校施設の防災機能強化に関する講習会の開催
 - ・耐震化推進に関する技術的な相談窓口の設置

3. 文教施設の環境対策の推進

令和5年度概算要求額 46,398千円（前年度 10,933千円）

環境を考慮した学校施設の整備推進

- ① 環境を考慮した学校づくりの普及啓発
 - ・「学校施設のZEB化」の先導的なモデルを整備する学校設置者に対して、基本計画策定の支援を行い、実証事業で得た知見を整理し、地域へ横展開
- ② 学校施設整備における木材活用の推進
 - ・学校施設における木材活用推進のための事例集の作成や、学校設置者等を対象とした講習会の開催
- ③ 省エネルギー対策の推進
 - ・省エネ法に基づく指導・助言として現地調査の実施及び講習会の開催
- ④ 健全な学校環境の確保
 - ・学校施設の維持管理の推進に関する調査研究の実施

4. 公立文教施設事務経費等

令和5年度概算要求額 224,974千円（前年度 198,714千円）

公立文教施設事務費等

- ① 老朽化対策の促進
 - ・学校施設の長寿命化改良等に係る講習会の開催
- ② 廃校活用の促進
 - ・優良事例の横展開、民間事業者と地方公共団体のマッチングの実施
- ③ 都道府県事務費交付金
 - ・義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律等に基づき、各都道府県教育委員会に必要な経費を交付
- ④ 公立学校施設の財政支援の見直し
 - ・公立学校建物の標準面積の検討
 - ・公立学校施設の国庫補助単価に関する標準仕様の見直し

5. 国立大学法人等施設事務経費等

令和5年度概算要求額 54,795千円（前年度 29,375千円）

国立大学法人等事務費等

- ① 国立大学法人等施設の中長期的な整備方針の策定等
 - ・ 今後の国立大学法人等施設の在り方に関する有識者会議の実施
 - ・ 国立大学法人等における共創拠点の形成を支援し、その成果を発信・普及
 - ・ 国立大学法人等におけるPFI・コンセッション事業の取組を支援し、その成果を発信・普及
- ② 施設マネジメントの推進
 - ・ 国立大学法人等施設の施設マネジメントに関する調査研究の実施
- ③ 大学等施設の整備に係る基準等の策定
 - ・ 技術的基準等の策定、普及啓発